学校番号	3032Ｂ

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	(学)公共演習②	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校 公共 これからの社会について考える」　(数研出版)						
副教材等	４ステージ演習ノート公共　(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○２年次に学習した「公共」の学習内容の中でも主に経済分野に関する総復習や問題演習を行う。また、適宜時事問題に関する調べ学習や発表等を行う。

2　学習の到達目標

○「公共」の中でも経済分野に関する基本的な用語や概念についての知識を身につける。
○授業の中で扱う各テーマに関して、自分自身との関わりを意識し意見や考えを持つことができる。また自分の意見を発問やグループワーク等で適切に表現することができる。
○興味関心のあることについて適切に調べ、発表することができる。
○学習した内容を踏まえ、習得した知識や考えたことを活用し、社会の一員として自身の進路選択や今後の人生に生かすことできる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識:公共で学習した内容や現代の諸課題を再度捉えながら考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念・理論・制度などについて理解する。 技能:多様な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・問題演習などを通して、公共に関わる概念や制度などについて考えることができる力を涵養する。 ・社会問題や現代の諸課題について自分自身の考えをまとめ、他者に自分の考えを発表することができる力を養う	・学習した内容や取り組み姿勢を振り返り、その後の取組などに生かすことができる力を養う ・授業や課された課題に意欲的かつ粘り強く取り組む力を深める

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	経済	①経済のしくみと市場機構 ②財政と金融 ③日本経済の発展と福祉に実現	a:企業の果たす役割が理解できている。中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。市場経済のメカニズムが理解できている。経済指標を理解している。金融のしくみを理解している。政府が経済に果たしている役割を理解できている。財政のしくみを理解している。社会保障について理解できている。 b:企業倫理について考察できている。経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。自身の老後生活を予想し、租税と社会保障とのバランスを考察できている。 c: 経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しが立てられている。商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的は消費行動がとれている。	定期考査	レポート 定期考査 ワークシート	学習状況の観察

後期	経済	①国際政治の動向と日本の役割 ②国際経済の動向と国際協力	a:国際政治に関する用語（冷戦・国際連合など）や国際経済（自由貿易体制や南北問題など）についてやこれらに関わる課題を理解できている。 b:経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 c: 経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しが立てられている。自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。	定期考査	レポート 定期考査 ワークシート	学習状況の観察
	時事問題・学習内容のまとめ	①興味・関心のあるニュースや項目などについて調べる・発表する ②学習してきた内容を振り返る	a: 各々が興味の持っているニュースに登場する用語や制度について理解できているか。 b:時事問題や自身の興味関心のある項目について自分の力でまとめ発表することができているか。 c:多様な問題や出来事がある中で自己との関係に着目して主体的に題目を選択し、調査することができている。	定期考査	レポート 定期考査 ワークシート	発表の様子 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度